

1/24毎日

# 国内死者5000人突破

## ペース加速 2週間で1000人

新型コロナウイルスによる国内の死者は23日、全国で新たに83人確認されて5077人となった。「第3波」が深刻化した2020年12月以来の死者は計2912人で、全体の6割近くを占めている。重症者の増えている。重症者の増加傾向は続いている。死者のペースは今後さらに加速する可能性がある。

毎日新聞の集計では、死者が1000人に達するまでは158日間、1000人からは250日間かかるが、30日間かかったが、30

00人に到達するまでは30日間、4000人は18日間と短くなり、4000人から5000人までは14日間だった。

12月上旬は30人程度だった1日あたりの死者数は同じ日が多くなり、1月19日は4日連続で100人前後を記録した。緊急事態宣言下の東京や神奈川、埼玉、愛知、大阪、兵庫では

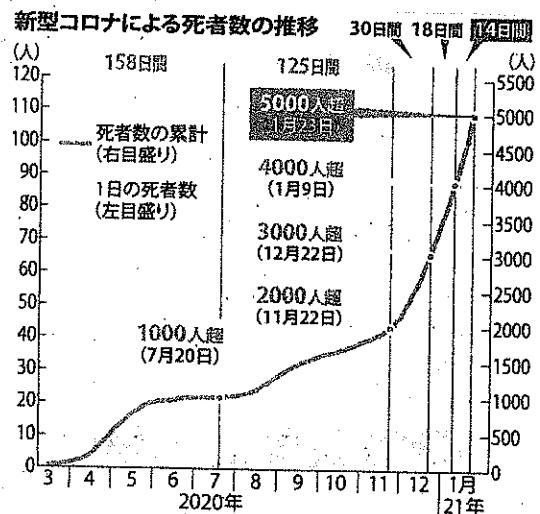
10人以上が亡くなる日が出ている。

月別の死者数は11月が382人だったのにに対し12月は1340人と3.5倍に急増。1月は23日まで1572人と12月の死者数を

超えた。厚生労働省がまとめた20日時点の死者数(4328人)のデータでは、非公表などを除き男性2553人(59%)、女性1651人(38.1%)。陽性者に対する死者の割合(死亡率)は、80代以上が11.5%と最も高く、70代4.3%、60代1.3%、50代0.3%、40代以下0.02%となっている。

【畠田信幸】

## 高齢感染者増加も深刻



死者数の増加ペースは感染拡大の「第3波」で加速している。厚生労働省によると、確保を見込む新型コロナ患者用の病床使用率(20日時点)は、20都府県で50%を超えて、政府が示す指標の「ステージ4」(感

染発覚)に該当している。自宅療養中に死んでる感染者も相次ぎ、事態は深刻化している。

日本は欧米諸国よりは死者数が少ないが、アジアやオセアニアの国と比べると、決して少なくはない。

【小川祐希】

人、台湾(0・29人)を上回る。死者数の増加ペースは、今後もしばらく変わらずにない。全国の新規感染者数は1月上旬に7000人超になつたのをピークに、最近は一日6000人前後に減少しているが、「死者数は、感染症よりも2~4週間、遅れて増える」(感染

黄谷憲夫医師)ためだ。また、感染力が最大で7割強いとされる変異株が国内で広がれば、死者数が急増する恐れがある。感染者の一定の割合が死に至るために、高齢者の感染が増えていくことも、懸念材料だ。例えば東京都では、18日までの一週間に確認された感染

症に詳しいいわう病院の患者のうち、65歳以上が15・

02・18人)、ダイ(1・02・02シメーターを必ず貸し出し、医師や看護師が1日2回程度、電話で確實に健康状態を確認する必要がある」と話す。